(一) 第681号　昭和27年9月25日 第三種郵便物認可　THE MIIKE　【毎週日曜日発行】　昭和36年(1961) 7月23日 (日)

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
7140
編集兼発行人　境　孜

無期限スト突入いらい杵島は九六日、高松六九日をそれぞれ迎え、激しく闘つている。長期に闘う仲間たちに、われわれは力づよい激励を送ろう。

合理化粉砕と松川の完全無罪を

全九州 山口 五万人の総決起大会

七月二十三日午後一時から、福岡市東公園広場で「合理化反対、国民の生活と権利を守り、政策変更と松川無罪を要求する全九州山口総決起大会」がひらかれた。大牟田地区からも、三池労組と主婦会からの四五〇名をふくめて、約一、六〇〇名が参加した。

大会は、日炭高松労組のブラスバンドの伴奏による労働歌合唱、開会宣言のあと、公労協代表、公務員共闘代表、民間単産代表、松川事件対策協議会代表を議長団にえらんで、議事をすすめた。

大会実行委員長（小野福岡県評議長）のあいさつのあと、与崎福岡県知事、社会党代表多賀谷代議士、共産党代表瀬藤参議、松川事件対策協議会代表本田彼告、日黒製作所労組代表から、つぎつぎとメッセージがおくられ、決意表明と闘争中の組合紹介にうつつた。炭労の野宮次長と、総評の今村副議長がたつて、たたかう決意を表明しつづいて闘争中の組合として、高松、杵島、九鉄、大辻、新屋敷の各労組代表が紹介され、力強い激励をうけた。

そのあと、決議採決にはいり、失業反対の「自労決議」、公務員のスト権奪還の「公務員共闘決議」、松川事件無罪要求の「松川対策決議」の三つを満場一致で採択決定し、松川事件無罪要求国民大行進に参加する九州各県の代表が紹介された。

つづいて、全労働者の統一と団結の力で、賃下げ、首切り、合理化をハネ返し、政策変更を闘いとろう。安保体制を打破し、暗黒政治を再現する政暴法絶対反対。失業反対、賃金引上げ、最低賃金制、社会保障制度の確立を闘かいとろう。ILO条約批准、スト権奪還、不当処分ゼロ回を闘いとろう。真実の平和のために、松川の完全勝利をかちとろう。以上五つのスローガンを採択し、大会宣言のあと市中デモ行進にうつつて、午後四時すぎ大会を終つた。

こんどの大会は、さきに高松でひらかれた五月七日、六月四日の大集会、杵島でひらかれた六月七日の大集会をさらに拡大発展させ、松川事件の無罪要求とも結合させたひろく全九州・山口県下の労働者・農民・市民の総決起大会としてひらかれたもので、次の大会宣言にしめされているように安保闘争、三池闘争の経験を生かして、統一と団結をつよめ、幅広い諸階層の要求を結合させ、たたかいぬこうという意志を結集した力強い大会であつた。

大会宣言

杵島炭鉱の労働者は、三人に一人の首切りとカコクな合理化提案に対決し、明山、売山の強迫をうけながら既に百日にのぼるストライキをつづけています。

日炭高松も八、〇〇〇円の賃下げと強制配転の提案をけつて七十日のストライキをつづけているのです。

三池闘争以後の炭鉱の合理化は、大手、中小を問わず強行され、十三万人首切りの合理化攻撃は一層はげしくかけられているのです。

十数年にわたつてかちとつてきた炭鉱労働者の権利は、毎日二名の友人を災害で失つていくというひどい条件の中で闘われてきたものであり、上清、豊州大辻等における大災害が、今日の炭鉱合理化の実情を示しています。

このような殺人的な合理化は単に炭鉱だけに加えられているのではなく、全産業にわたつたものであり、われわれのすべての職場に加えられているものであります。農民六割を首切る農業基本法の強行採決もこの現れであります。

このように、ひどい合理化の結果失業した人は再就職の機会もなく、その家族と共に救いのないまま放置されています。

近年雇用は増加しているといわれますが、これは臨時工や中小企業の労働者であり、若い労働者や女子労働者の賃金は、植民地なみの低賃金であります。

日本の独占資本は、世界にまれな低賃金に頼つて生産を増強していますが、労働者の反撃をおそれています。

今年の春闘で大幅賃上げに成功しましたが、この春闘の成功は日本の労働者階級の賃上げ要求がいかに切実なものであり、総評、全労、中立のワクをこえて賃金引上げの要求に統一し闘おうとしてきたからであります。

第二に公務員共闘が永い闘いから、二、六八〇円の賃上げをかちとり、失業反対の闘いを発展させて生活保護費一、七三一円の引上げと失対賃金五二円引上げを政府に認めさせることができました。

三月三十一日の公労協半日ストは昇給を除いて約二、二〇〇円の賃上げで妥結しましたが、全国で半日ストの実力行使を守る動員体制を固めることができました。

しかし賃上げの内容は不充分であり、今後の決起が一層必要とされています。

われわれは、今や日本の低賃金を打破するために、全国一率の最低賃金制と社会保障制の拡充を闘いとり、大幅賃上げを闘う時であります。

池田首相渡米後、急拠内閣改造をおこないましたが、これは池田ーケネディ会談によつて、失敗をくり返し後退するアメリカを支えるために、アジア反共軍事ブロックの中心となつて、欧州の西独とともに、その役割を果す使命を荷い、これを遂行するため政治的暴力防止法案のような民主運動を弾圧する、自民党警備の体制であります。

若し、来る臨時総会において政治的暴力防止法案を提案するならば全労働者のストライキを以つて闘おう。

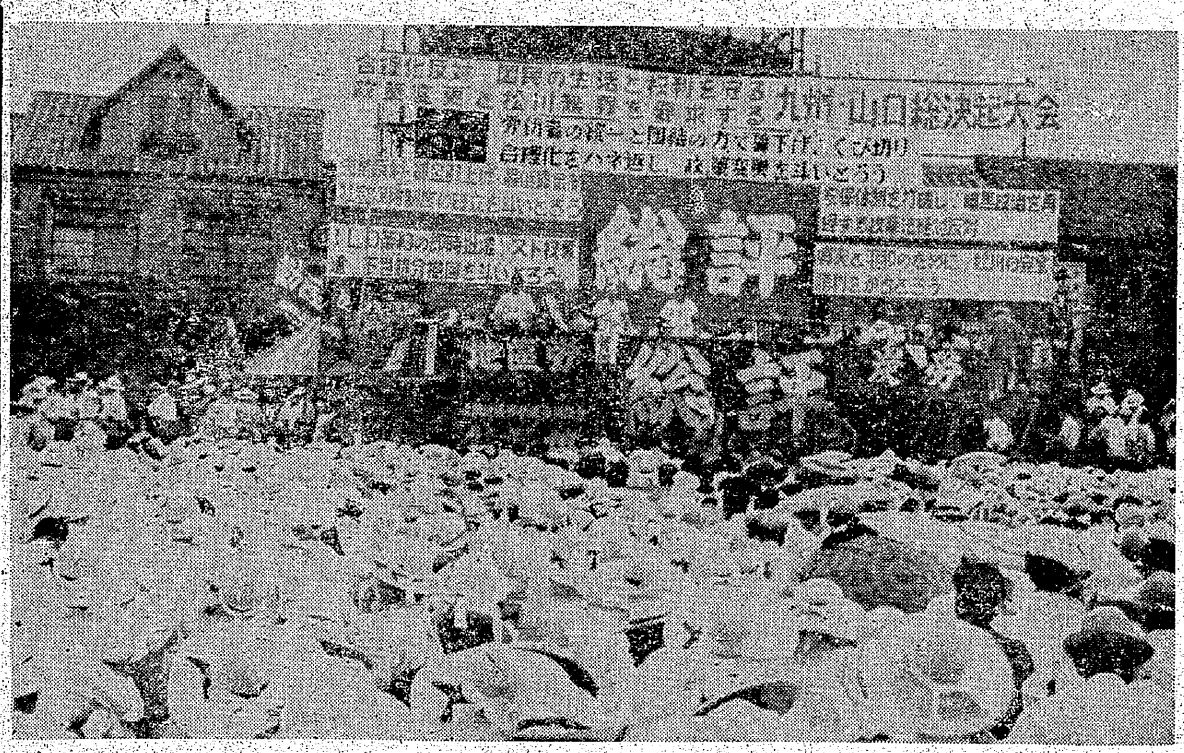
右手に合理化、左手に弾圧、これは敵の定石であり、これに対決するためには、要求すべきことを堂々と要求し、全労働者が一つになつて闘うことです。ストライキは与えられるものではなく、労働者が持つている当然の権利であります。

大会に結集された労働者の皆さん。統一のあるところ勝利があるのです。統一とは自らの要求をもつて闘うことであります火花ばりよう原の火となります

日炭高松、杵島の闘い、炭労の合理化反対の闘い、これは一つの闘いの火花かもしれません。しかしこの火を燃やし、発展させること、これはこのヒ・二三集会の任務であります。

ここに結集したわれわれは、声高らかに全国の労働者の皆さんに、安保と三池の経験を生かし、総決起を呼びかけます。

一九六一年七月二十三日
合理化反対、国民の生活と権利を守り、政策変更と松川無罪を要求する
九州・山口総決起大会



みんながひとつになつて闘うことを誓いあつた5万人の決起大会（7月23日・福岡市東公園）

みいけ日誌

7月17日　教宣部長会議、大地評執行委員会、大地評文教部長会議、公判＝福岡刑事二部（18日まで）、職対＝集団農場造成整地始め

18日　総務部長会議、大地評執行委員会、行動隊支隊長会議　職対＝市計画課と打合せ

19日　企画会議、賃金理事会

20日　三川鉱変災工藤光さん殉職、労働部長会議、教宣部と主婦会支部長会議、企画会議

21日　大地評執行委員会、世界労組大会打合せ

22日　故工藤光さん社葬、公判＝玉名地裁（25日まで）

23日　三川鉱変災打崎一郎さん殉職、全九州・山口労働者総決起大会（福岡で）、第二回大牟田母親大会

あれから一年 (30)

十万人の大集会

労相事態収拾にのりだす

安保体制粉砕、不当弾圧反対、三池闘争を守る総評九州拠点大集会は十七日午後一時からホツパー前広場でひらかれた。

あつまるもの一〇万、まさに労働運動はじまつていらいの出来事であり、労働者の連帯とたくましい前進を、この大集会は力強くものがたつた。

大集会は一万人の警官が動員されるというこの日、「労働者の権利と生活を守り、日本の民主主義を守りぬく正義の闘い」に勝利する確信が全国の仲間たちの流れおちる汗だらけの体とみなぎつていた。そして安保を粉砕し、弾圧に屈せず統一の力でホツパーを守る固い決意を表明した。

一挙に組合ぶつつぶしをねらつて警察は、日本中の警官総数の十二分の一にあたる一万人の警官を動員しはじめた。

現地指導委員会は十七日、この問題について協議の結果、警官に対抗するため、わが方のピケ隊を二万人に動員することを確認し、翌十八日には、早くも仲間たちがぞくぞくと結集してきた。

同じくこの日の午前十時、「執行吏」の旗を先頭に執行吏が警官を伴いホツパーに進出してきたが、わが方のピケ隊の阻止によつて引き上げた。午前十一時までにピケ隊は六千名に達した。

翌十九日、ホツパーのピケ隊九千名の前に、警官隊は午前九時半ごろからトラック、貸切バスで警官八千名を動員、電車庫付近に結集して線路をはさんでピケ隊と対峙した。

午前十時半に執行吏三名がピケ隊の前に姿を見せ、総評弁護団ピケ隊長からの話し合いの申入れを拒否して、逆に警官隊に執行援助要請をする始末であつたが、ピケ隊は整然と配置につき正午すぎ警官八千名を追いかえした。

激突かと思われる緊迫した事態を前にして、福岡地裁大牟田支部の入江裁判長は、十八日あつせん試案を出してあつせんに乗り出してきたが、会社は十九日これを拒否してきた。あくまで流血の惨事を招いてでも仮処分の執行をやろうというのである。

十九日午後二時、石田労相は労働省突然、事態収拾についての勧告を行なつてきた。そして三時すぎ中労委がついに乗り出してきた。三池労組では二十二日、中央委員会をひらき、中央にのぼつた灰原書記長から炭労があつせんを受諾するという決定にいたるまでの詳しい経過の報告が行なわれ、あつせんに伴う諸問題を討議した。

あつせん受諾により、二十二日午前九時からオルグ団一万名の解団式が行なわれた。また三池からは逆にこの日、東京へ情宣オルグ団一〇八名が出発した。

オルグ団解団式のあと、デモ行進に移つたが、デモ隊の最後尾の全学連が警察署前へさしかかるといきなり二百の学生に二千名の警官がおそいかかつて多数の重軽傷者を出した上、二十七名を不当逮捕する暴行をふるつた。

まつたく許せぬ行為であり、組合ではただちに抗議の声明を発表した。

× × ×

犠牲者をだしたそうですが、保安を無視し生産第一主義の会社は責任をとるべきです。

これからはますます暑くなりますので、みなさんお体に気をつけて健闘してください。三池の仲間ともにがんばりましょう。

三池の仲間よ星の
如く美くしく輝け

一、昨夜見た星
今夜も輝いている
ホツパーの夜空に輝いていた
ピケ小屋にがんばろうの
うた声が響いていた
炭塵る仲間の
くろがねの男の
たくましい響だつた

二、思えば一年おれも
仲間とホツパーで闘つた
あの夜は鉄道枕に夢をみた
星は輝き美しかつた
そうだいまも
おれの胸に闘魂の火は燃えている
三池の仲間は今も闘つている
がんばれがんばれ
星はいつも輝いている

三池は忘れぬ

神戸（元四山支部）
森　輝　夫

拝啓　きびしき夏のあつさにも負けずにたたかいつづけておられる三池労組の組合員はじめ家族のみなさんお元気ですか。

さて、卑劣な会社が連日差別攻撃、組織切り崩しにやつきになつていることは、支部や地域からの連絡でよく存じています。でも、三池闘争で鍛えられた闘魂が、団結が崩れるはずがありません。私たち家族は異郷の地で第二の人生を出発しましたが三池のことはいつも心がけています。そして「炭塵る仲間」「がんばろう」をよくうたいます就労してすでに十二名もの尊い